



平成 26 年 8 月 25 日

各 位

会 社 名 燦キャピタルマネージメント株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 前田 健司  
(コード番号:東証JASDAQ2134)  
問 合 先 取締役 管理本部 本部長 岡田 和則  
(TEL. 06-6205-5611)  
U R L <http://www.sun-capitalmanagement.co.jp/>

### 第三者割当による新株予約権発行に関する資金使途及び支出予定時期変更のお知らせ

当社は、平成 26 年 5 月 23 日付「第三者割当による第 4 回新株予約権及び第 1 回転換社債型新株予約権付社債の発行並びにコミットメント条項付第三者割当契約の締結に関するお知らせ」(以下、「前回増資」という。)にて開示いたしました調達資金の使途(以下、「前回増資の資金使途」という。)及び支出予定時期について、本日開催の取締役会にて、下記のとおり変更することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 変更の理由

平成 26 年 5 月 23 日に公表しました通り、当社はマイルストーン・キャピタル・マネージメント株式会社を割当先とする総額 209 百万円の資金調達を実施しました。

前回増資の資金使途でありました小規模太陽光分譲販売事業につきまして、太陽光ビジネスの活況に伴い、当社独自のルートによる対象地の直接仕入れが難しい状況となっております。そこで、従前からの有限責任事業組合による販売形態(当社は投資家の紹介業務を行い、当該投資家からの購入申込に応じて当該有限責任事業組合が仕入れ、当該投資家に販売するという販売形態)をはじめとした、いわゆる仲介業務の推進に注力したビジネス展開を図ることが先決と考えました。

そのため、当該事業にかかるものとして前回増資により調達した資金につきましては、今後の財務体質改善実施に備えるため、借入金の返済に振替ることといたしました。

また、併せて連結子会社である鳥取カントリー倶楽部株式会社の設備投資にかかる資金として調達した資金につきましても、今後のビジネス展開を見据えた、営業体制の再構築のため、当社グループの運転資金に振替ることといたしました。

今後につきましては、前回増資により調達した資金により、事業領域として不動産関連事業を中心に据えて、より一層の経営の安定化のため、営業体制を再構築し、収益基盤の早期確立を目指していく所存であります。

なお、具体的な充当状況については、「2. 変更内容」記載のとおりであります。



## 2. 変更の内容

### 【変更前】

具体的な用途	金額 (百万円)	支出予定時期
① 運転資金（人件費、支払報酬等）、借入金返済	55	平成26年8月～ 平成26年11月
② 遂行中のプロジェクト及び新規プロジェクトに伴う投資資金及び諸費用（手付金、仲介手数料、コンサルティング費用等）		
(a) 関西における遂行中の不動産開発プロジェクト	40	平成26年6月～ 平成26年10月
(b) 小規模太陽光分譲販売事業	60	平成26年7月～ 平成27年3月
(c) SPVを活用した不動産流動化事業または不動産購入資金	30	平成26年7月～ 平成27年3月
③ 当社連結子会社に対する設備投資資金等	15	平成26年6月～ 平成27年3月

### 【変更後】

具体的な用途	金額 (百万円)	支出予定時期
① 運転資金（人件費、支払報酬等）、借入金返済	125	平成26年8月～ 平成26年12月
② 遂行中のプロジェクト及び新規プロジェクトに伴う投資資金及び諸費用（手付金、仲介手数料、コンサルティング費用等）		
(a) 関西における遂行中の不動産開発プロジェクト	40	平成26年9月～ 平成26年11月
(b) SPVを活用した不動産流動化事業または不動産購入資金	30	平成26年9月～ 平成27年3月
③ 当社連結子会社に対する設備投資資金等	5	平成26年8月

- ① 前回増資の資金用途①につきましては、順次8月から運転資金に充当しておりますが、今後のビジネス展開における営業体制強化への充当を中心として、前回の資金用途③当社連結子会社に対する設備投資資金より、10百万円振替えております。また、前回の資金用途②小規模太陽光分譲販売事業資金より、株式会社ISホールディングス（代表者：遠藤昭二、所在地：東京都千代田区丸の内1-11-1）からの借入金の返済に60百万円振替えております。
- ②(a)前回増資の資金用途(a)につきましては、進捗しております関西における遂行中の不動産開発プロジェクトへの土地取得予定者に対する土地購入関連費用を用途とする投資資金として、40百万円充当予定でありましたが、案件のクロージングが当初の予定より遅れており、支出予定時期を平成26年9月から同11月の間へと変更しております。



**Sun Capital Management Corp.**  
燦キャピタルマネージメント株式会社



(b) 前回増資の資金使途(c)につきましては、平成26年7月以降四半期毎に不動産流動化を実行していくことを企図しておりましたが、案件の進捗が当初の予定より遅れており、支出予定時期を平成26年9月から平成27年3月の間へと変更しております。

③前回増資の資金使途のとおり、平成26年8月に連結子会社である鳥取カントリー倶楽部株式会社の運転資金（人件費等）として5百万円充当しております。

### 3. 今後の見通し

今回の資金使途変更による平成27年3月期の業績への影響につきましては、軽微でございます。

以 上